



目次

巻頭言	1
全連退東海北陸地区協議会報告	1
県退職校長会研修会報告	1
地区退職校長会だより	2
生き生きライフ	2・3・4
学校支援・社会貢献活動紹介コーナー	4
題字 野口峰子(元 あま・正則小) 25年度入会	
タイトル 大津悟司(元 一宮・奥小) 28年度入会	

現場からの教育改革

副会長

尾崎 智



定年退職後、大学と教育委員会会で七年お世話になり、四十五年間の教育現場での勤務を終えました。今思えば幸せな教員人生でした。

完全退職後三年目の今、その時代の蔵書やスーツなどを断捨離しています。元来の貧乏性でなかなか整理が進みませんが、先輩の著書を除いて、教育関係の蔵書は全て片付けました。断捨離といっても人との繋がりは大切に残さねばと思います。しかし、このコロナ禍で、いろいろなOB会やご指導の会が中止、延期を余儀なくされました。果たして復活できるのか、このまま消滅してしまうのか、少々、不安な気持ちです。

コロナの流行拡大時はすでに現場から離れていましたので、コロナ禍に対応した教育の実態は正直よくわかりません。幸い義務教育諸学校で大

きなクラスターなどのニュースは聞こえてきません。日本の公教育のきめ細やかな対応力や教育力のなせる技だと思っています。

先日、退職後三年を迎える後輩と話をする機会がありました。これまで、少人数指導をしていた彼ですが、もう来年から辞めるというのです。理解の遅い子に寄り添って目と目を近づけ、じっくり学ぶ指導ができないという理由です。管理職よりも教えることの大好きな彼が、このコロナ禍の教育に限界を感じているのです。「黙食」、「歌わない音楽」、「体を接触しない体育」、仕方ないことですが、三密を避けながらより効果的な指導法の変革が求められます。

教育の三大改革は明治の学制頒布、戦後の教育基本法等の制定、平成の教育三法の改正と言われています。どれも法律改正による上意下達の改革です。今、このコロナ禍だからこそ、子供が主体的に自ら学ぶ手法や密を避けつつ協働的に学ぶ令和の教育改革を確立しなければなりません。鳴り物入りで始まった教員免許更新制も廃止されようとしていきます。教師も現場で自ら学び、鍛えていく時です。子供たちも教師も今こそ、現場からの教育改革です。

全国連合退職校長会
東海北陸地区協議会
福井大会 報告

副会長 坂野 重法

昨年度、コロナ禍により、中止になった東海北陸地区協議会が、十一月四日、福井市で開催された。本県の江本隆会長、尾崎智副会長、稲生修一事務局長と共に参加した。江本東海北陸協議会会長の司会による「魅力ある退職校長会を目指して」、各県の実情をもとに成果と問題点が熱心に話し合われた。

愛知県からは、現職校長会との交流や学校支援活動が、学校現場を支えることになり、会員のやりがいや会の魅力につながっていると発表した。

また、情報交換では、「コロナ禍における退職校長会の活動状況と教育現場の状況」について報告された。

どの県も退職校長会の魅力を発信するために広報活動に力を注いでいた。今後は、定年延長により、退職校長会への入会年齢などを検討する必要があるという意見が出た。



県退職校長会
研修会 報告

八月二日、

愛知県教育委員会義務教育課長の伊藤孝明様を講師にお招きし、「義務教育の抱える今日的課題」と題してご講話をいただきました。



会に先立ち、江本隆会長から、本研修会を現役の方と合同で行うようになったのは、退職校長が少しでも現役のお手伝いをしたい、という意思の表れであるとの説明がありました。

講話では、「あいちの教育ビジョン2025」で新たに加わった視点として「SDGsの考えに基づいた活動であること」「ICTの活用を推進すること」の二点について説明がありました。

また、GIGAスクールを受け、実際の学びの様子が、どのように深化・転換していくのかについて具体例を挙げて教えていただきました。

講演会後、鈴木愛知県小中学校長会と新井名古屋市立小中学校長会から、教育現場の実態と課題について、具体的なお話をいただきました。

地区退職校長会だより

県内の地区退職校長会から、たよりをいただきました。互いの理解と親睦を深めるため、順次紹介していきます。

稲沢地区 退職校長会

本会は、稲沢市(旧尾西市を含む)に在住する退職校長を会員としています。他地区在住の方も希望により会員になれます。

今年度は新たに五名の会員を迎え、一八九名の会員で活動を進めています。

昭和二十六年に発足した伝統あるこの会は、親睦・懇親を目的として重要な役割を果たしています。

会員の計報連絡は、本会の大きな役目の一つになっています。事務局の力を借り連絡網を利用して行っています。

事務局は市内の中学校にお願いしています。本会は、温かみのある中にも団結力のある会になっています。

会の名称は「喜久の会」といいます。

この「喜久の会」は、毎年十一月三日(文化の日)に、定例総会を開き、多数の会員の参加をいただいています。

総会では、その年の逝去会員への黙祷に始まり、役員を選出、事務局(会長在住地区

の中学校)の確認、事業報告と会計報告を協議し、その後親睦会を行っています。

しかし、昨年度と今年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため、中止しました。

来年度こそは、無事に総会や親睦会が開催でき、各自の近況報告や現職時代の思い出話や苦労話などに花を咲かせられることを期待してやみません。

(18年度入会 松永宗康)

名古屋地区 退職校長会

「名古屋地区退職校長会」は、名古屋市内立幼稚園、小学校、中学校、高等学校を退職した園長・校長で組織されており、現在約二千名の会員がいます。目的は「退職後も教育者の信条を忘れず、互いに励まし合い、旧交を温めること」です。その目的を達成するため、①会員相互の親睦をはかる②現職校(園)長等と連携し、名古屋市教育の充実発展に努める」事業を行っています。

会の歴史は古く、昭和二十

六年に「名古屋地区退職校長会」として発足、昭和五十年に現在の名称に改められました。活動としては「役員会」「幹事会」「総会」「追弔法要」等を行っています。

特に、「追弔法要」は、毎年秋に由緒ある「八事山興正寺」において開催し、故人となられた多くの会員のご冥福を祈っています。

本年度は、新型コロナウイルス感染症対策によりまして、十一月十四日の日曜日に例年よりは規模を縮小しながらも厳かに法要を執り行いました。また、例年、追弔法要の後に行う「総会」では、八十名を超える会員が集い「傘寿のお祝い」や「新会員の歓迎」などにより親睦を深めてきました。本年度は残念ながら、コロナ禍により「総会」はできませんでした。しかし、再び会員の皆様と和やかに集うこと、今後の本会の発展を期して活動してまいりたいと思います。

(28年度入会 小口博則)



追弔法要

生き生きライフ

道楽

27年度入会 小川 悟
(元 田原・福江中)

始まりは、今は亡き母が新聞広告の裏に書き留めたメモを、一冊の本にしてあげたことからだった。

こんな簡単に本ができるのなら、自分が現役の頃に書いた様々な原稿を集めても一冊の本になるのではないかと、思いつて、まとめたのが『潮騒のささやき』である。出来上がった本を手にとったときは幾分満足感もあったが、読み返しているうちに、何か物足りなさを感じるようになっていった。

今の心境を綴ってみようか。そう思い、書くことにしたのが『日記』ならぬ『週記』である。週に一回、千文字程度のものを二年間書いて貯めていけば一冊の本になる。

表題は『白秋の記』とした。中国には、古来より「青春」「朱夏」「白秋」「玄冬」と、人間の一生を自然の移りかわりになぞらえ、人生を四つに区分する考えがあると言う。現代人にとっては、五十代から



三冊の本

の約二十五年が「白秋」に当たるだろうから、今の自分は正にその時期にある。白秋の時期にある自分の思いを綴ってみよう。そう心に決めると、何か後ろを見ていた自分が、いつの間にか前を向いているように思えた。

新たに出来上がった本は、親戚や友人に読んでもらった。ただそれだけのことだったが、とても清々しい気持ちになった。

楽しく歩いて健康に

28年度入会 土井 正直
(元 名古屋・小幡小)

二十年ほど前に膝を痛めたことを契機に、リハビリを兼ねて歩くことが好きになりました。特に、鉄道を利用すると歩くことの楽しさが倍増するものだと感じます。

一つ目として、鉄道会社が開催しているハイキングへの参加です。



池に映る姿見えてる？(花鳥圖)

鉄道会社主催ですからスタート地点は駅からなりま
す。歩行距離や特色などい
ろいろなコースが設定されてお
り興味のあるコースに参加し
ます。普段自分では利用する
ことのない駅ですが、新鮮な
気分を味わうことができます。
非日常感がわくわく感を誘う
のかもしれませんが、自分のペー
スで歩くことができ、文化や
自然にふれることができます。
このことが心地よい気持ちに
させてくれます。

二つ目は、「青春18きっぷ」
を利用した旅行です。
全国のJR線の普通列車が
一日乗り放題というありがた
いお得な切符です。年齢に関
係なく購入できます。のんび
り列車を乗り継ぎながらの旅
行は、気持ちをゆったりさせ
てくれます。また、道中立ち
止まっただけの写真撮影も楽し
みの一つです。

これからも鉄道を利用して
歩く楽しみを充実させ、健康
増進を図っていききたいと思っ
ています。

私の読書スタイル

29年度入会 伊藤 義幸
(元 名古屋・船方小)

読書を自分の趣味と思うよ
うになったのは十年ほど前
でしょうか。ゴルフやギターな
どと違って読書を生活や仕事
の一部と考えてきた私が、そ
れも趣味のひとつと考えるよ
うになったのは、作家や評
論家がいろいろな本の魅力を
紹介するテレビ番組の影響が
ありました。その番組で紹介
された本や、書店で自分が気
になった本を少しでも多く読
みこなそうと、毎月の目標も
立てるようになりました。

四月から、仕事がフルタイ
ムではなくなったことで、もっ
と多くの本が読めると思っ
ていた私でしたが、しばらくし
て全く増えていないことに気
付きしました。読む力や意欲の
低下も心配したのですが、よ
く思い返してみると、これま
でより、頻繁に前のページを
読み返したり、気になる言葉
や事柄を立ち止まって調べた
りしていることに気がつきま
した。確かに読める冊数は限
られますが、本の内容をじっ
くりと味わうことができ、ま
た自分の考えも少し深くなっ
てきた気がします。生活の変
化が、読書スタイルを変えた

のかもしれませんが。

読んでいて気になることが
あると、本棚に並べた既読の
本を再び引っ張り出しては、
関係するところを読み返すの
も楽しくなってきました。

これからも、そんな自分の
読書スタイルを楽しんでいき
たいと思っています。



好きな本とともに

東海自然歩道

パトロール員

30年度入会 村岡 周作
(元 北設楽・豊根中)

退職後四年目からパトロー
ル員として東海自然歩道の点
検や整備をしています。

設楽町の区間を四人で分担
し、岩古谷山から福田寺まで
の約八キロメートルが私の担
当です。岩古谷山は標高八〇
六メートル。デイサイトと呼
ばれる火成岩の岩山です。

山頂付近は手すりや鉄梯子
が設置されていますが岩肌が
露出した登山道であるため東
海自然歩道の三大難所の一つ
と言われています。

月十日間ほどのパトロール

では、ほぼ毎回岩古谷山に登
ります。岩がむき出しになっ
た頂上には樹木がなく三六〇
度見渡せます。奥三河の山並
みが一望できるほか、透明度
の高い日には遠州灘が見える
ことがあります。

パトロールしていると様々
な人に出会います。県の絶滅
危惧種や希少種の植物観察す
る人、山城の城跡を見学する
人、東京から大阪まで東海自
然歩道を歩く人やトレイルラ
ンニングをする人などです。

現職の頃は自宅と職場の往
復がほとんどで、地域のこと
をあまり知りませんでした。が、
パトロールを通して様々な人
と出会い、地域を深く知るき
かけになっています。

「きれ
いに整備
されてい
ますね」
登山者の
言葉を励
みにパト
ロール活
動をして
います。



三大難所の一つ岩古谷山

ひとりプラタモリ

元年度入会 土井 謙次
(元 江南・布袋小)

退職したとはいえ、フルタ

イム勤務が続いている。しか
し、校長時代とは背負うもの
が全く違い、見える景色も異
なる。現役校長には頭が下が
る。

退職してからより強くなっ
た知的好奇心。街角の祠、不
自然な傾斜地、地名など、そ
の由来や意味を調べたくなっ
てしまう。手にするのは、ス
マホ。過去と現在の地図が比
較できる「今昔地図」、その土
地の地盤情報が分かる「地盤
マップ」、標高がcm単位で分
かる「スローパー地形」などの
アプリを見ながら周辺を探索
する。

先日、たまたま所用で訪れ
た東京・品川。時計を見ると、
ちよつとしたすき間時間があ
る。そこでひらめいたのが、
「大森貝塚」。社会科教師に
とっては考古学の聖地である。
京浜東北線で大森駅まで行き、
スマホを見ながら向かった。
地盤、標高をチェック。東側
を見ると、京浜東北線を走る
電車の屋根が見える。明らか
にこちらが高い。台地の端に
当たり、縄文の集落があった
だろうと想像できる。

北に進むと大森貝塚遺跡庭
園があった。貝塚を発見した
モース博士の胸像、貝層の剥
離標本などが整備され、学習
施設となっている。

スマホの情報を併せると、

貝塚がここに存在する意味がわかる。過去と今がつながるのである。

次はどこへ行こうかな?これが私の「ひとりブラタモリ」である。



大森貝塚遺跡とモース博士像

いのちの使い方

3年度入会 堤 泰喜
(元 春日井・南城中)

私は、教師生活最後の三年間は「命の授業」に力を入れました。「いのちをバトンタッチする会」代表の鈴木中人民のお言葉「どんなことがあっても絶対に親より早く死んではいけない!」は、気弱で臆病な私が、今でも自分自身に言い聞かせている言葉です。『命の授業』講演家の腰塚勇人氏の「五つの誓い」も、これから私が生きていく上での指針にしたいと思います。

◆口は人を励ます言葉や感謝の言葉を言うために使おう

周りの人が頑張れるような「ポジティブな言葉」を発していきたいと思います。発した自分自身にも力が湧いてくるからです。

◆耳は人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう

聴くという行為は、相手に安心感を与えます。会話は心のキャッチボール。常にグローブを開いて、球を捕る体勢をとつていたいと思います。

◆目は人の良いところを見るために使おう

現在勤務している幼稚園では、子ども達の長所を見つけては、それを言葉で伝えていきます。すると、子ども達は輝きます。その「照り返し」で、私自身も輝くことができます。

◆手足は人を助けるために使おう

意識をすれば、できることがたくさん見つかります。その積み重ねだと思っています。

◆心は人の痛みがわかるために使おう

相手と同じ痛みを自分の中に感じることができなくても、悲しんでいる人に寄り添うだけで、ほんの少しでも、その人の心の痛みを和らげることができればと思っています。

世のために、「小雨」が降るかのように静かに働いていこうと思います。懺悔の旅です。

学校支援・社会貢献活動紹介コーナー

ジュニア世代も

地域の立派な担い手

27年度入会 平林 哲也
(元 一宮・木曾川中)

参加した中学生から「多国籍の子どもたちが増えているので、その人たちの文化に触れ、日本で暮らす上での問題点を一緒に考える機会が必要だ」と意見が出された。

一宮市には連区ごとに「地域づくり協議会」が組織され、地域のことは地域で取り組み、解決するシステムがある。

今年度、私の属する「木曾川町連区地域づくり協議会」では、初めて町内の小中学生による「ジュニアトーク」を開催し、ジュニア世代の視点に立ったまちづくりを考える機会を企画した。参加した二十七名の小中学生は、地域が抱える身近な問題を的確にとらえ、その解決のために自分たちに何ができるか、活発に意見交換した。その姿を見て、私はジュニア世代も立派な地域の担い手であると再認識した。



意見交流する小中学生

少子高齢化が進む今、高齢者対策は地域の最重要課題であるが、すべての小中学校がコミュニティ・スクールに指定されている一宮市においては、高齢者対策に並行して、地域の将来を託すジュニア世代に社会参画を促す機会を創出することも極めて大切な視点である。

現在、地域づくりの担い手も高齢化し、後継者不足に悩んでいる。後継者を育てるためには、ジュニア世代やその保護者世代を巻き込む仕掛けが必要である。教職経験を活かしながら、地域の一員として今後も活動していきたい。

会議の中止について

「全国連合退職校長会」

令和三年度 理事会 中止
令和三年度 総会 中止

事務局だより

ご多用の中を、原稿の執筆にご協力いただきました多くの皆様にご心より感謝申し上げます。

これからの会員の皆様に喜んでいただける会報になるよう努めてまいります。今後とも皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

奇数号の「学校支援・社会貢献活動紹介コーナー」は、アンケート調査と活動紹介を隔年で掲載しております。偶数号には「会員交流広場」(会員の作品紹介)を掲載させていただきます。皆様の学校支援・社会貢献にかかわる活動や作品(絵画・書・写真・短歌・俳句等)を是非お寄せください。

愛知県退職校長会事務局
名古屋市中区新栄一丁目
四九番一〇号
愛知県教育会館六階
愛知県小中学校長会事務局内
TEL 〇五二一六二一八一五二
FAX 〇五二一六二一八〇七
E-mail ak-kocho@axel.ocn.ne.jp